

August 2019

信仰を用い、最高、最善の祝福を受ける。
—わたしは神さまに誰よりも愛されています—

それと同じように、信仰も、もし行いがなかったなら、
それだけでは、死んだものです。
(ヤコブ2:17)



代表 エルサレム杉澤

皆さまの尊いお祈りとご献金を感謝いたします。7月20日～8月8日の日程で礎の石孤児院カンボジアから、東京アンテオケ教会のオンライン教会でカバリングを受けている教会員の子供たち5人が来日しており、東京、白馬キャンプ、九州、関西、中部で活動報告会が行われています。主の守りと主の御心が完全に全うされるようお祈りください。

ミッションの働きの土台であるTLEA東京アンテオケ教会主催で夏の白馬キャンプが行われました。このキャンプは終末の後の雨リバイバルと終末の働きの使命の全うのために主の特別な導きで始まったキャンプであり、毎年、2月と7月に長野県の白馬で行われています。この白馬の場所は、特に黙示録6章(終末リバイバルのクライマックス)と19章に登場する白い馬と深く関っており、神さまの特別な導きとご計画を強く感じています。夏のキャンプは日本のオリジナルゴスペル曲〈J.GOSPEL〉と賛美グループによる「J.GOSPELコンテスト決勝大会」が中心でした。当初は大人だけでしたが、今ではKIDS(小学生)、U21(中学生以上～21歳未満)と年齢層も広がっています。

預言を通して賛美を始めとしてIT(インターネット)&AI(人工知能)や映像を世界宣教で大きく用いると語られ、賛美ではヴォイストレーニングやオーケストラ、アレンジセミナー、ITやAIではSNS・ブログセミナー、AIセミナーや映像セミナーが行われました。

特に、孤児院の子供たちは白馬キャンプに行きたいとあきらめずに、祈り続けた結果、来日する夢が実現し、U21部門決勝では自分たちで作詞・作曲した曲で5位に入賞しました。確かにJ.GOSPELや御霊の賜物を通して聖霊の働きが大きく変化しています。賛美を通して救いが起こり、いやしや知恵・知識のことばを通しての主の働きも顕著になっています。

主に正しく聞き従うとき、主が働きを全うして下さり、栄光を現してくださいませ。



写真：白馬キャンプでメッセージするパウロ秋元牧師